

Q28

アセスメントの重要性



職員さん

夕方になると、認知症のNさんから「帰りたい、帰りたい」って言われるんです。



リーダー

どう対応したらよいと思う？

問題

職員さんがすべき対応は？

- A … Nさんに、今は家に帰れないことをやさしく説明する
- B … Nさんの生活歴から、どんな気持ちでいるのか想像して対応する

正解

B ... Nさんの生活歴から、どんな気持ちでいるのか想像して対応する

解説

認知症の女性の場合、夕方に「帰りたい」と訴えることが多いようです。

その背景には、家庭の主婦として働いていたときの「子どもが帰ってくる前に自分も家に帰らなくては」「夫が帰ってくる前に夕飯を作らなくては」という気持ちがあります。

夕方になると、誰しも物悲しい気持ちになるものです。認知症の方の場合は、さらに不安な気持ちでいるのかもしれませんが、できる限り利用者の気持ちに寄り添う対応を心がけましょう。

ポイント アセスメントの重要性

アセスメントとは、利用者の状態をよく知り、なにを求めているかなどの情報収集をすることです。

認知症の利用者については、身体的状態（ADL）のアセスメントだけでは不十分であり、目に見えない思いの部分、感情の部分をきちんとアセスメントすることが大切です。

Q30

突然の「面会したい」には？



職員さん

「利用者のOさんの知人だ」という方が面会にいらしています。



リーダー

Oさんは、入居していることは秘密にしてほしい方じゃなかったかな？

問題

職員さんのすべき対応は？

- A … 面会者の氏名や関係を確認してから、Oさんに引き合わせる
- B … 「Oさんが入所しているか否かも含めて、お答えできない」と答える

正解

B ... 「Oさんが入所しているか否かも含めて、お答えできない」と答える

解説

利用者の氏名や入所の事実は、個人情報に該当するため、気軽に外部の人に教えてはいけません。

利用者やご家族から、「入所していることは伏せておいてほしい」という希望がある場合の面会依頼には、「入所しているか否かという情報も含めて、個人情報なのでお答えできない」と答え、面会者にお引き取りいただく必要があります。利用者のなかには、特定の人との面会を拒絶する方もいるため、面会者の氏名や関係を確認した上で、慎重に対応しましょう。

ポイント **利用者の情報の共有**

利用者やご家族から「特定の人との面会を断ってほしい」「外部からの問い合わせには名前を出さないでほしい」等の要望があった場合、そのことを職員の間で共有しておくことが必要です。

事業所として、どの職員でも同じ対応ができるようにしておきましょう。